

「肺結核の退院基準の検討」についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行っています。

1. 実施目的について

現在の退院基準を検討し、退院のタイミングが適当であるかを評価する調査です。

2. 実施内容について

肺結核で当院に入院された患者さんの喀痰の抗酸菌検査の結果を診療録より収集します。
(喀痰の抗酸菌検査とは患者さんの喀痰内の結核菌の量を測定する検査で入院中に複数回検査される検査です。当検査は退院基準の主な評価項目であります。) なお調査にあたり、患者さんの個人情報収集しません。

3. 研究責任者

増田貴史 (呼吸器病センター 呼吸器科 専修医)

4. 研究分担者

堀場昌英 (呼吸器病センター 呼吸器科 呼吸器疾患部門部長)

5. 調査対象期間

本研究の承認日から2014年5月30日

6. 個人情報およびプライバシーの保護について

この調査対象とする報告書には、患者さんおよび報告者がわかるような個人情報は含まれませんので、この研究による個人情報、プライバシーの漏洩や公開は生じません。またこの研究で作成するデータファイルは、報告書と同様の管理をします。

この研究の成果は学術的な場のみで公表します。

この研究についてご質問があるときは、上記の研究責任者までお問い合わせください。